

2. まちづくりの目標

豊島区は、このまちが今いる人びとにとってこれからもずっと、気持ちよく住み、働き、学び、楽しむことができる都市であり続けること、そして、新しい人々にも多くの魅力にあふれた舞台であり続けたいと考えます。そこで、

【住み続けたい、活力にあふれる、みんなのまち 豊島区】

を標語に、これからのまちづくりをすすめる基本目標を次のとおり掲げます。

（基本目標）

「いきいきとした暮らしと身近なコミュニティが息づく定住都市」

さまざまな住民がいきいきと暮らし、身近なコミュニティがしっかりとかたちづくられた、人びとの定住を支える都市をめざします。

「交流とにぎわいを育む活力都市」

多彩な活動の舞台である池袋副都心と、都市生活を充実させる各地区の拠点が、人びとの交流と都市のにぎわいを育む活力ある都市をめざします。

そして、「定住都市」と「活力都市」が相互に調和し、みんなでつくる豊島区をめざします。そのための達成目標として、次の3つを掲げます。

（達成目標）

「災害に強い安全・安心な都市」

古くからの密集市街地や大勢が集まる副都心を抱える豊島区では、安全に安心して暮らし、活動できる災害に強い都市をめざします。しっかりした道路網、ゆとりある緑地・公園、日頃からのまちづくり実績や地域活動のとりくみなどを積み重ね、大地震でも被害がおきにくい都市をめざします。

「環境と共生する快適な都市」

豊かな緑と広場が身近にあり、快適な環境・景観に恵まれた、アメニティ豊かな都市をめざします。資源をリサイクルし、大気汚染を減らし、エネルギーの消費を抑えた環境負荷の小さな都市、水や緑などまちの自然をたいせつにする都市をめざします。

「地区の個性が輝く都市」

地区を基礎においたまちづくりをすすめ、歴史や文化、景観などの資源を生かした、地区ごとの個性が輝く魅力あふれる都市をめざします。